

県営吉島住宅^(仮称)3期

Yoshijima
Prefectural Housing
(tentative name)
3rd Stage

広島型建築プロポーザル

Hiroshima-Style Building Proposal

魅力ある建築物 | 広島県 土木建築局營繕課
創造/事業 | 730-8511 広島県広島市中区基町10-52
TEL: (082) 513-2311

中庭を中心とした集合住宅。

車交通から守られ、高齢者や子供達が安心できる緑豊かな広場をこの地域につくりたいと思った。公営住宅だからといって、効率的に均質な住戸をたくさんつくるだけではなく、住む人や地域の人々一人一人が光と風と緑が豊かな故郷の記憶を育む空間となって欲しい。

6つの住棟に柔らかく囲まれた中庭は、路地を介して近隣の公園や広場につながる。囲まれながら同時に地域に開かれた中庭空間は敷地内外にまたがる近隣の歩行者と緑のネットワークの中心となる。沿岸埋立地の無機質な風景の中に地域の人々が共有する場所のアイデンティティが生じることを期待している。



県営吉島住宅 (仮称)3期

様々な大きさの6つの住棟が中庭を囲う集合住宅である。この中庭は住棟間の路地によって北側街区の公園と南側街区の広場につながっており、本計画の中庭を含めた3つの緑化されたオープンスペースが南北に縦断する歩行者経路によって新たにネットワークされることを意図している。

低層戸建て住宅地に近い敷地西側エリアは、2階または4階建てとし、ボリュームをいくつかに分割することで周辺との調和を図っている。広幅員道路に面する敷地東側には9階建ての高層棟を配置し、道路沿いの他の公営住宅群の比較的大きなボリュームに対峙させ、内部には瀬戸内海を眺望する住戸を設けた。高層棟は細く高く積層させることで、継続的に長時間日影となる部分を少なくしている。高層棟があることで低層棟がより低層で低密度に、低層棟があることで高層棟がよりスレンダーになる関係となることで、それぞれの住戸に特徴的な魅力が備わるようにした。

周辺地域のオープンスペースと歩行者経路の再定義を試み、建物のボリュームの分割とその適切な配置によって、周辺の公営住宅群と民間戸建て住宅地のスケール調停を行った。沿岸埋立地の無機質な景色の中に、ヒューマンスケールの景観を育むきっかけが生じることを期待している。



県営吉島住宅(仮称)3期 建築データ

Building data

名称／県営吉島住宅21・22号館	施工／建築／錦建設(株)	敷地面積／2,645.69m ²
所在地／広島市中区吉島新町2丁目21-3	(株)鴻治組	建築面積／21号館:464.21m ² , 22号館:476.79m ²
主要用途／共同住宅(県営住宅)	電気／大保電業(株)	延面積／21号館:1,701.28m ² , 22号館:1,560.85m ²
事業主体／広島県	(株)国栄電機商会	階数／21号館:地上9階一部2階, 22号館:地上4階
設計者／土井・松岡設計共同体	機械／ダン環境設備(株)	構造／鉄筋コンクリート造
	昇降機／日本エレベーター製造(株)広島出張所	外部仕上 屋根／合成高分子系ルーフィングシート防水 一部塗膜防水
	三精テクノロジーズ(株)広島営業所	外壁／合成樹脂エマルション系複層仕上塗材
受賞／(有)西尾節吾商店	豊／(有)西尾節吾商店	施工期間／2014年2月—2015年5月
		総工事費／867百万円

広島型建築プロポーザル

検索

設計者



土井一秀建築設計事務所

1972 広島県生まれ
1997 広島大学大学院工学研究科環境工学専攻修了
1997-2001 小川川喜一都市建築設計事務所勤務
2002-2003 文化庁新進芸術家海外研修員 foreign office architects 勤務 在ロンドン
2004- 土井一秀建築設計事務所 主宰

受賞

2005 Holcim Awards 2005 - Asia Pacific - Bronze 受賞
2009 グッドデザイン賞受賞
2009 International Architecture Awards 2009 受賞



株式会社松岡設計

1974 広島県生まれ
1997 広島工業大学環境デザイン学科卒業
1997-2003 五洋建設株式会社勤務
2003-2013 (有)松岡建築設計事務所勤務
2013-2014 同社代表取締役就任
(株)松岡設計に社名変更

松岡秀直

Access



HIROSHIMA



県営吉島住宅(仮称)3期 広島市中区吉島新町2丁目21-3

[公共交通機関]

広島バス24号線 吉島病院行 バス停・吉島アパート前 下車 徒歩1分